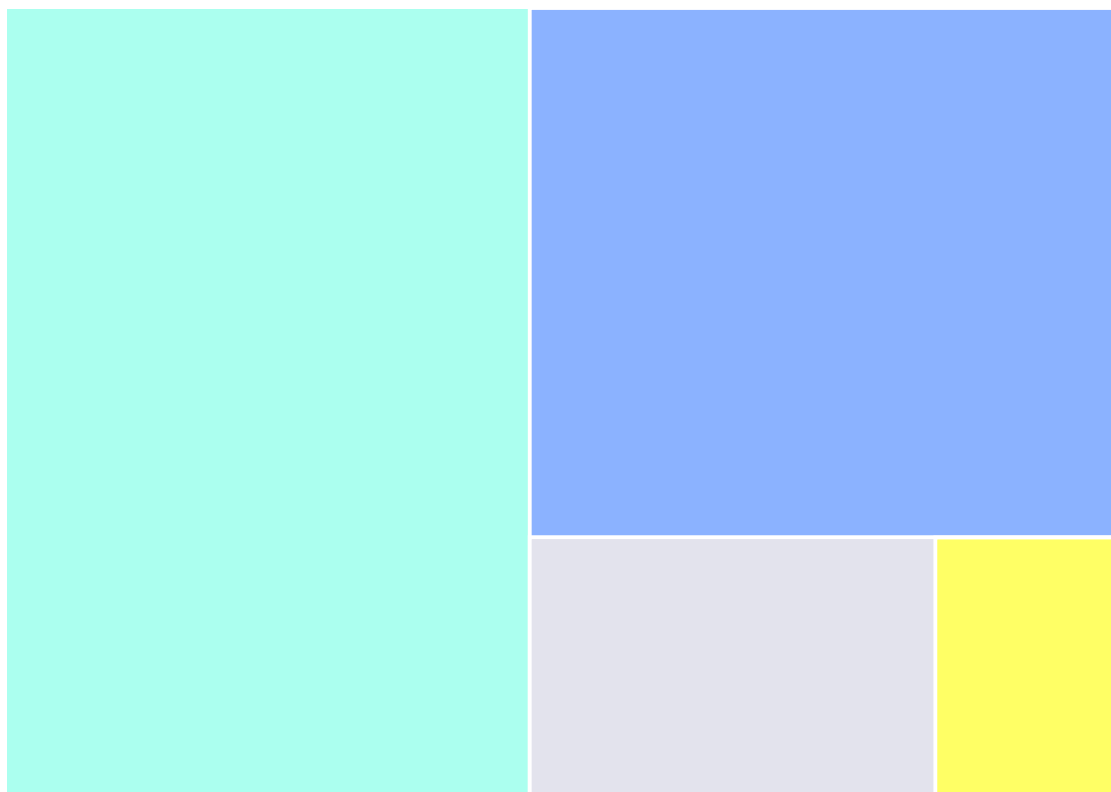


# Urban Planning Bureau Business Outline

－ 静岡県都市局の取組2026 －





# CONTENTS

## 都市局の事業概要

都市局の組織 P. 2

都市局の方針 P. 4

都市局の予算 P. 6

主要事業 P. 8

- 01 持続可能なまちづくりの推進
- 02 地価調査
- 03 市街地再開発事業
- 04 土地区画整理事業
- 05 景観形成
- 06 連続立体交差事業
- 07 街路整備事業
- 08 下水道事業
- 09 浄化槽整備事業
- 10 公園事業
- 11 都市のDX化に向けた取組

# OUR PROFILE

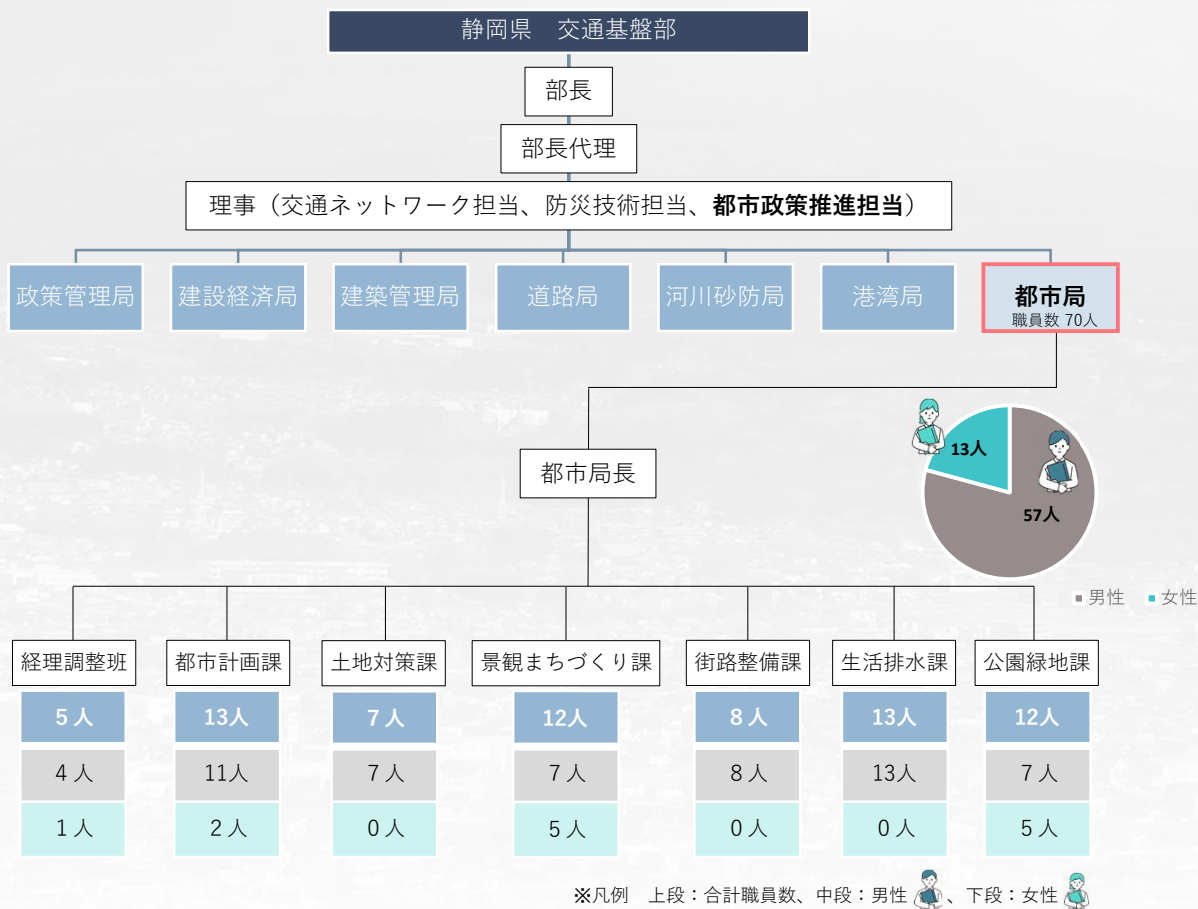
## 都市局の組織

### 組織構成

静岡県都市局は、静岡県の建設行政を所管している交通基盤部に属しています。この交通基盤部の幹部に、都市政策推進担当の理事が置かれています。

都市局には、都市局長を幹部に置き、合計で70人の職員が職務を遂行しています。このうち、女性職員はおよそ2割を占めています。

都市局では、予算・決算や総務事務を所掌する経理調整班と、6つの課に分かれ、都市づくりの計画や、街路・公園・下水道などの都市の基盤となる施設を整備・管理しています。このほか、市町や組合等に対して、技術的助言なども行っています。



## 各課の所掌事務

### 都市計画課

持続可能で、機能的で暮らしやすい市街地の形成を図るため、都市の将来像を明らかにした都市計画のマスタープランを策定しています。

また、これに即した都市計画の決定等を推進しています。

⇒ 関連ページ P.8～9、P.19

### 街路整備課

都市において渋滞緩和による円滑な交通の確保や沿道利用の促進、歩行空間の創出による安全性の確保を図るため、幹線街路の整備を行っています。また、交通の円滑化や市街地の一体化を図るため、鉄道高架事業を推進しています。

⇒ 関連ページ P.14～15

### 土地対策課

適正な土地利用と地価の形成を図るため、関係法令等に基づき、土地利用事業、開発行為等の審査指導を行っています。

また、土地取引、土地価格に関する調査等を行っています。

⇒ 関連ページ P.10

### 生活排水課

公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な水環境や快適な生活環境を保全するため、下水道や合併処理浄化槽などの整備促進を図っています。また、河川管理者と連携して、排水不良地域や浸水地域の解消を図っています。

⇒ 関連ページ P.16～17

### 景観まちづくり課

県土・郷土の誇りとなる良好な景観の形成を推進するとともに、既成市街地の再整備によりまちなか居住を促進し、集約型のまちづくりを進めています。

⇒ 関連ページ P.11～13

### 公園緑地課

都市生活の快適性、安全性を確保する上で基盤となる都市公園や心地よい親水性を持った緑地等、潤いのある空間を確保するため、県営都市公園の適切な管理運営を行っています。また、都市公園及び緑地の整備も行っています。

⇒ 関連ページ P.18

# OUR POLICY

## 都市局の方針

### ■ 本県の位置及び広がり

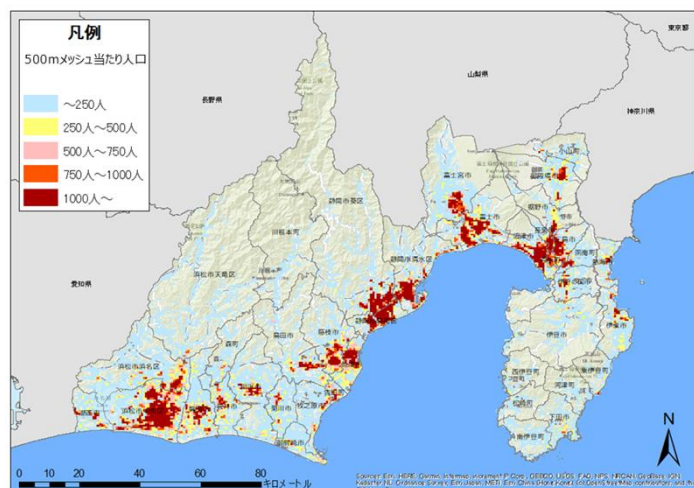
本県は、東西155km、南北118km、面積約7,777km<sup>2</sup>の広がりを持ち、東は箱根山を境に神奈川県、西は愛知県に接し、北は富士山を境に山梨県及び南アルプス連峰を境に長野県と接している。また、県土南側の海岸線は、伊豆半島東岸が相模灘に、伊豆半島西岸から中部が駿河湾に、西部が遠州灘に面し、海岸線延長は約500kmに及んでいる。

東京と名古屋の大都市圏の中間に位置する立地条件等に恵まれ、古くから東西交通の街道の要衝となっている



### ■ 都市の形成状況

本県は、東部の富士山、伊豆半島の天城山、中部の南アルプス赤石山脈など山岳地、丘陵地の割合が高く、平地部が少ない地形となっている。人口は交通の便が良い沿岸の平野部に集中し、多様な都市群が形成されている。





# OUR BUDGET

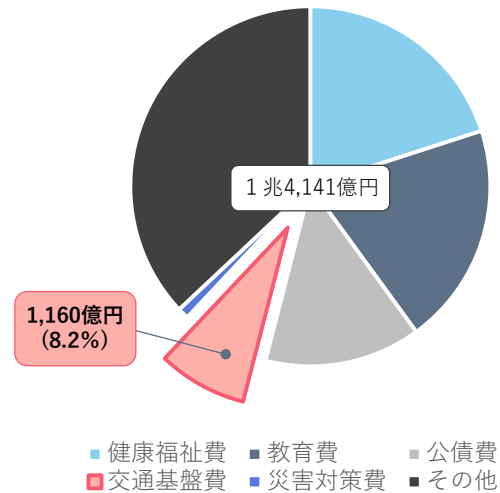
## 都市局の予算

### 静岡県交通基盤部の予算

静岡県の令和8年度当初予算は、1兆4,141億円です。

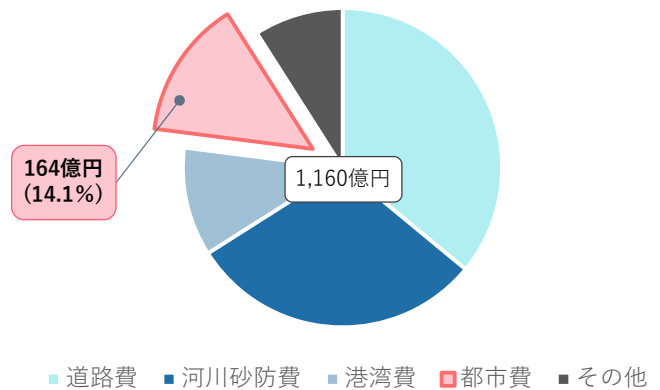
このうち、インフラ関係の予算である交通基盤費は、1,160億円で、全体の8.2%を占めています。都市局の予算は、この交通基盤費に含まれています。

また、交通基盤費のほかにも、交通基盤部が所管する予算に、災害対策費があります。



### 都市局の予算

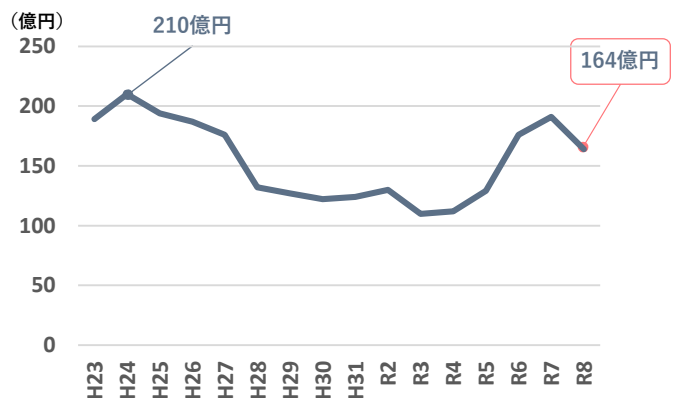
都市局の令和8年度当初予算は、164億円です。これは、交通基盤費の14.1%を占めています。



### 都市局の予算の推移

都市局の予算は、平成24年度をピークに減少傾向にあります。近年は4年連続で増加しています。

※R8は、組織改編により予算が減少



## 主要事業

### 令和8年度都市局当初予算で展開する事業

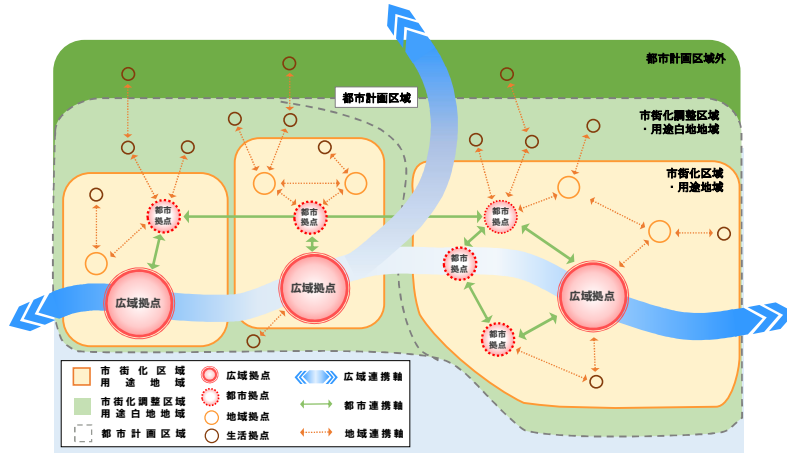
所管課・事業名	概要	予算額*1 (千円)	国費 充当	国庫補助事業名
<b>【都市計画課】</b>				
都市計画調査費	都市計画現況調査、総合都市交通体系調査	181,680	○	・街路交通調査費補助
<b>【土地対策課】</b>				
地価調査事業費	地価調査	45,157		
<b>【景観まちづくり課】</b>				
景観関連事業費	しずおか景観形成計画の推進	9,626		
土地区画整理事業費	土地区画整理組合等への補助	458,892	○	・社会資本整備総合交付金
市街地再開発事業費	市街地再開発を促進する市町への補助	1,629,108		
<b>【街路整備課】</b>				
街路事業費	街路整備	3,099,000	○	・地域連携道路事業費補助 ・無電柱化補助 ・社会資本整備総合交付金、 防災・安全交付金
沼津駅周辺総合整備事業費	沼津駅付近の連続立体交差化	5,818,000	○	・交通連携道路事業費補助
<b>【生活排水課】</b>				
建設改良費	流域下水道の改築更新	2,135,000	○	・社会資本整備総合交付金、 防災・安全交付金
管渠・ポンプ場・処理場費	流域下水道の維持管理・修繕	2,657,492		
農山漁村地域整備交付金事業費 (農業集落排水)	農業振興地域内の処理施設改修	45,000	○	・農山漁村地域整備交付金
生活排水改善対策推進事業費助成	合併浄化槽への転換	117,000		
流域別下水道整備総合計画調査費	流域別下水道整備総合計画の見直し	8,378	○	・社会資本整備総合交付金
<b>【公園緑地課】</b>				
都市公園維持管理費	県営都市公園の管理運営・維持補修等	2,557,100	○	・社会資本整備総合交付金、 防災・安全交付金
公園・緑化推進事業費	公園整備、修繕等	244,000		
公園施設中期維持保全計画事業費	公園施設中期維持保全計画に基づく修繕	824,800		
遠州灘海浜公園(篠原地区) 関連事業費	遠州灘海浜公園(篠原地区)関連調査、事業認可部分の用地取得	614,000	○	・社会資本整備総合交付金
県営公園官民連携導入可能性調査 事業費	公募設置管理制度(Park-PFI)等民間活力導入の可能性検討	8,000		

\*1 予算額は、国費、県費、交付金、負担金等の合計額を示す

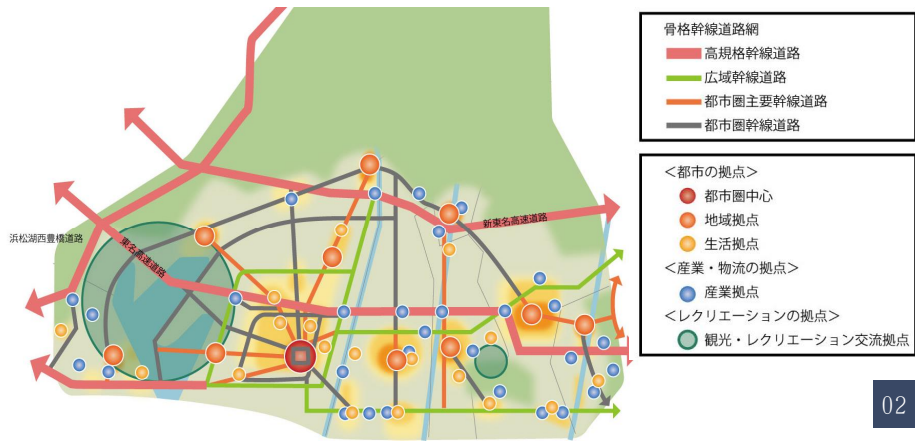
# 01

## 都市計画に関する各種計画の作成・支援

### 持続可能な まちづくりの推進



01



02

都市計画区域  
マスタープラン



都市交通  
マスタープラン



より良いまちづくりを進めるために、都市全体を将来どのようにつくり上げていくかを明確にし、それを実現させるために、土地利用や施設の整備について基本的な方針を示すマスタープランなどを作成しています。

### 都市計画区域マスタープラン

都市計画区域ごとに、長期的な視点から都市の将来像とその実現に向けた道筋を示す「都市計画区域マスタープラン」を策定しています。

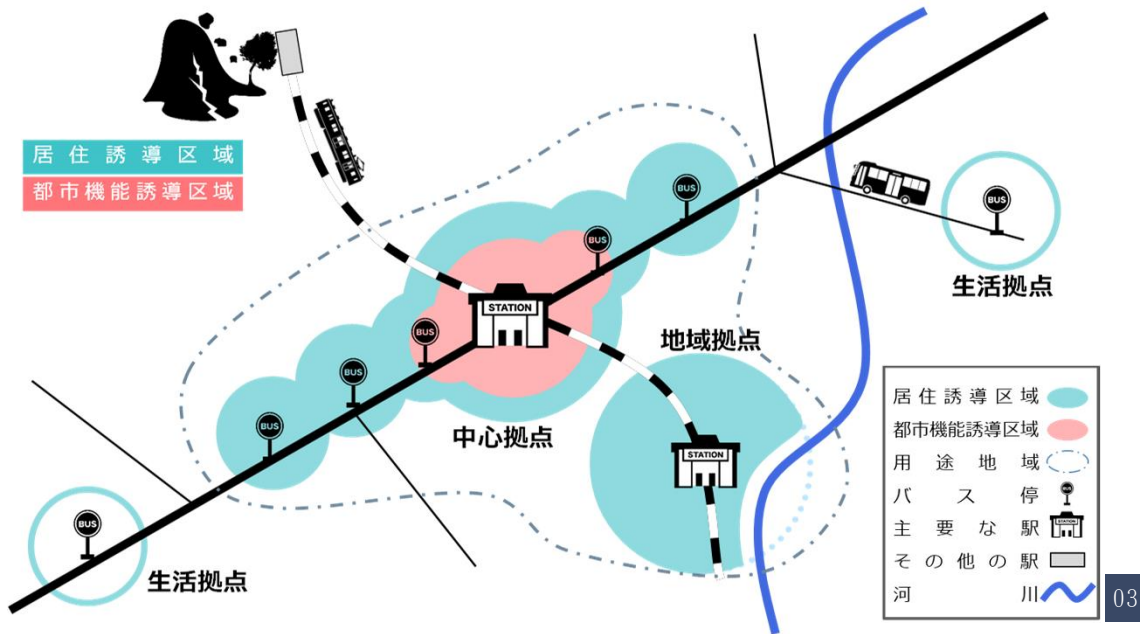
土地利用や都市施設などの個別の都市計画は、このマスタープランに即して定めています。

社会経済情勢の変化に対応するため、概ね5年ごとに見直しており、令和8年3月に全区域のマスタープランを策定しました。

### 都市交通マスタープラン

都市交通マスタープランは、概ね20年後の都市圏の将来像を見据えた総合的な都市交通計画で、パーソントリップ調査などの交通実態調査に基づき策定しています。

令和7年度末に西遠都市圏都市交通マスタープランを策定しました。静岡中部都市圏において、この間の社会経済情勢の変化に対応するため、新たな都市交通マスタープランの策定に向け、令和8年度から交通実態調査に着手しています。



03

### 防災対策

被害を出さないように主にハード整備を実施  
(防潮堤の整備、建物の耐震化、建物の不燃化等)

被害を完全に防ぐことは不可能

### 減災対策

予め被害の発生を想定し、被害を最小限に抑えるため、ハード・ソフトによる総合的な対策を実施  
避難地、避難路の整備、ハザードマップの活用、避難訓練の実施等

### 復興事前準備



防災・減災対策を行っても大規模な自然災害は発生する。万が一、市街地が被災した際に**迅速な復旧・復興を進めるために事前復興まちづくり計画の策定などの事前準備が重要**

- ・復興の手順や進め方を事前に決めておく
- ・復興における将来目標像を事前に検討・共有

04

## 立地適正化計画の作成・見直し支援

市町では、居住や様々な都市機能を拠点に誘導・集約し、公共交通で結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、立地適正化計画を作成し、持続可能な都市づくりを推進しています。

本県では、「立地適正化計画広域連絡協議会」を設置し、市町が進めるまちづくりを支援しています。令和7年に、県版の「計画見直しの手引き」を作成・公表し、市町の計画見直しを支援しています。



05

### 【図・写真】

- 01 将来都市構造のイメージ
- 02 骨格幹線道路網のイメージ (西遠都市圏)
- 03 立地適正化計画の概要図
- 04 復興事前準備のイメージ
- 05 都市防災総合推進事業による津波避難と観光の兼用施設 (伊豆市土肥地区)

## 災害に強いまちづくりの支援

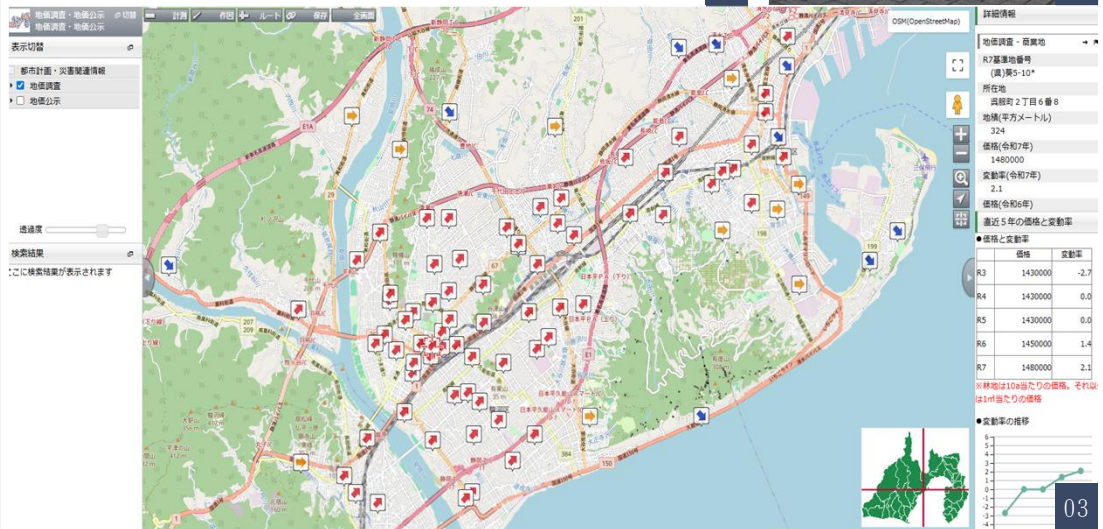
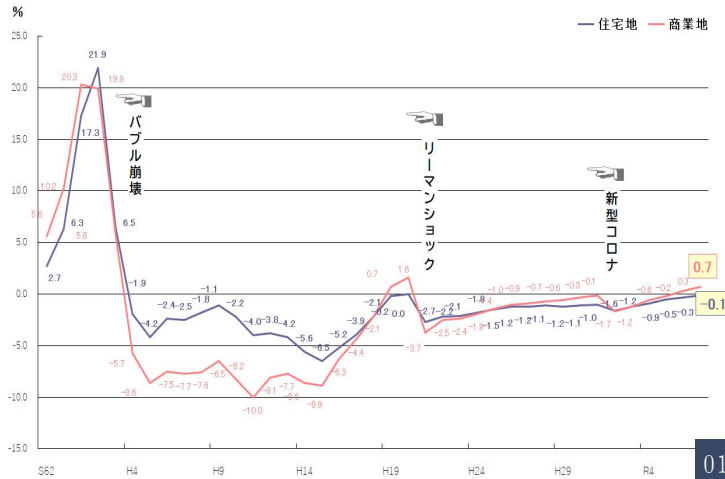
南海トラフ地震などの大規模災害から迅速に円滑で適切な復旧・復興を進めるためには、復興事前準備の取組が重要です。事前復興まちづくり計画は、予め復興の課題を想定し、住民合意のもと被災後のまちづくりの方向性や進め方等を定めた計画です。

本県では、市町が進める「事前復興まちづくり計画」の策定などの復興事前準備や、避難場所・避難路の整備などの防災・減災対策を支援しています。

# 02

## 適時適切な地価情報の提供

# 地価調査



地価調査は、県内の基準地610地点について、毎年7月1日時点の1㎡当たりの標準価格を調査、判定するもので、毎年9月下旬に公表しています。一般の土地取引や公共用地取得等の価格算定において、信頼性の高い公的な指標として用いられています。

### 目的と役割

地価調査は、国の地価公示とともに法令に基づき実施する調査で、地価高騰・下落の局面に関わりなく、土地対策の基本となる指標を提供するための貴重な調査として位置付けられており、適正な地価の形成・土地取引に寄与しています。

地価は景気動向を示す指標として見られることもあり、地域ごとに異なる事情や社会経済情勢が多様な動向を示す中、県民の地価への関心は高まっています。

地価調査結果は、情報インフラとして活用してもらうため、静岡県GISで公表するなど、適時適切に情報提供しています。

### 令和7年地価調査結果

県内の地価は、住宅地は下落したものの5年連続で下落率が縮小しました。また、商業地は2年連続、工業地は4年連続で上昇し、全用途では17年ぶりの上昇となりました。

中でも、生活利便性の良い住宅地や、顧客の回遊や観光客の賑わいが見られる商業地、交通利便性の良い物流施設需要が見込まれる地域を中心とした工業地等では上昇傾向となっています。

#### 【図・写真】

- 01 本県の平均変動率の推移
- 02 県内最高価格商業地周辺
- 03 地価調査結果の公開（静岡県GIS）

## 三島駅南口東街区

# 03

### 市街地再開発事業



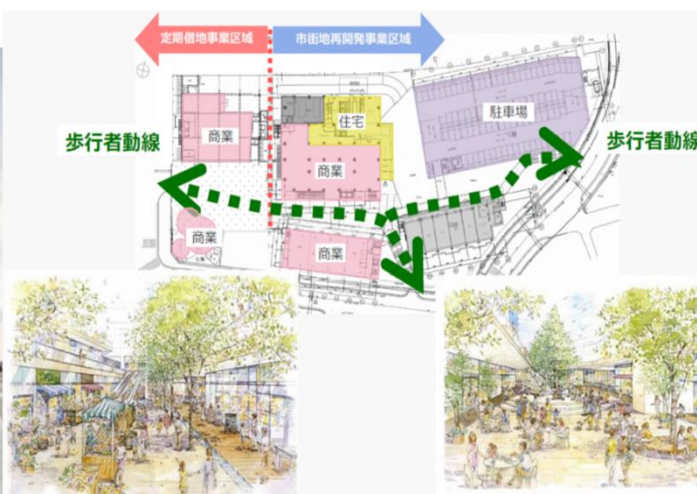
01



02



03



#### 事業概要

本事業は、伊豆の玄関口であるJR三島駅前において、健康医療拠点を整備することにより、土地の合理的かつ健全な高度利用、都市機能の更新、賑わいの創出、中心市街地の活性化及び三島市の持続的発展を図るものです。

- ・ 施行者：三島駅南口東街区A地区市街地再開発組合
- ・ 規模：延べ床面積約55,800㎡、4棟、高さ約90m他
- ・ 期間：令和2年度～令和9年度（予定）
- ・ 事業費：287億円
- ・ 内容：住宅、商業、医療、保育園、駐車場等

#### 県の取組

市街地再開発組合等が施行する市街地再開発事業が円滑に執行されるよう、国の交付金と併せた県補助金の交付、及び技術的支援を行っています。

#### 【図・写真】

- 01 JR三島駅南口（令和8年2月）
- 02 事業完成のイメージ（市街地再開発事業により住宅、商業、医療施設等を配置）
- 03 周辺の将来イメージと平面図

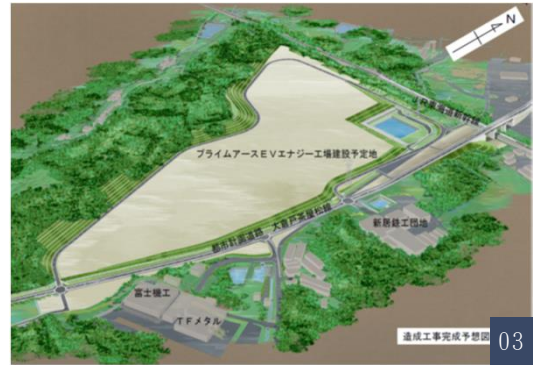
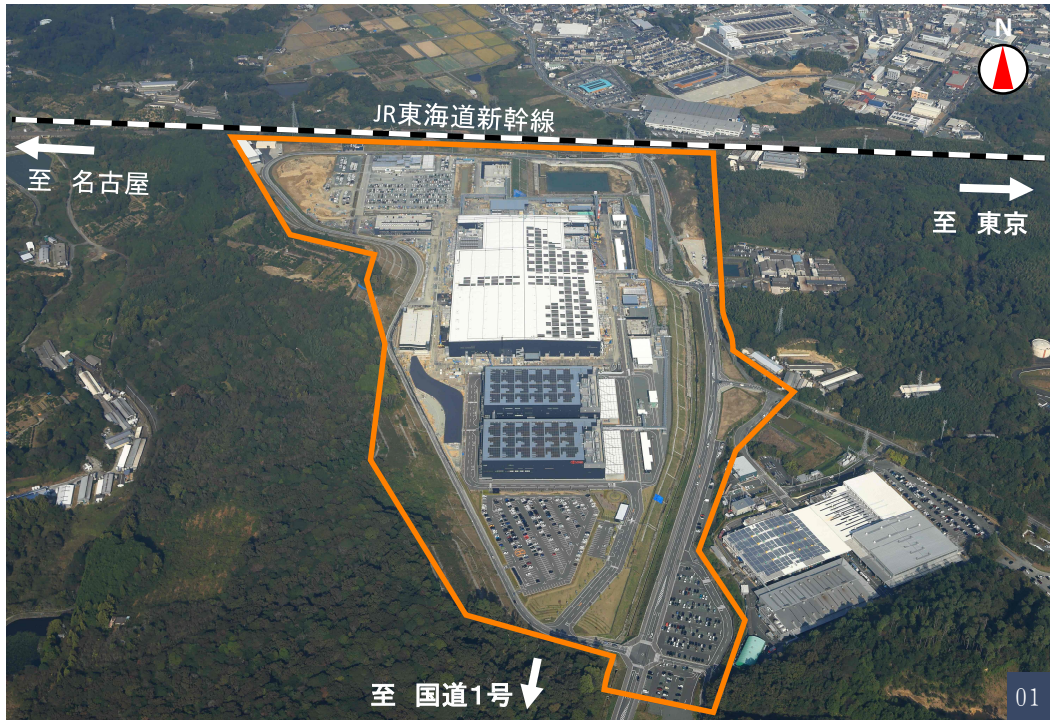
都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、一定規模以上の街区を形成する既成市街地において、老朽建築物を除却し、建築敷地、建築物及び公共施設を一体的・総合的に整備しています。

県内事業中箇所…7市11地区、約10・0ha

# 04

## 浜名湖西岸土地区画整理事業

### 土地区画整理事業



#### 事業概要

浜名湖西岸地区は津波被害の恐れがない標高30m以上の高台にあり、土地区画整理事業により工業用地の造成と国道1号へのアクセスとなる都市計画道路大倉戸茶屋松線を整備を行い、産業立地を促進しています。

- ・ 施行者：湖西市浜名湖西岸土地区画整理組合（間接補助）
- ・ 規模：48.6a
- ・ 期間：令和2年度～令和12年度
- ・ 事業費：99.9億円
- ・ 内容：都市計画道路整備、区画道路整備、工業用地の造成等

#### 県の取組

土地区画整理組合等が施行する土地区画整理事業が円滑に執行されるよう、国の交付金と併せた県補助金の交付、及び技術的支援を行っています。

#### 【図・写真】

- 01 浜名湖西岸地区の航空写真（令和6年11月）
- 02 都市計画道路大倉戸茶屋松線（令和7年2月）
- 03 完成予想鳥瞰図

良好で健全なまちづくりを行うため、都市基盤が未整備な市街地について、道路、公園などの公共施設の整備改善と不整形な宅地の整形化を行い、宅地の利用増進を図っています。

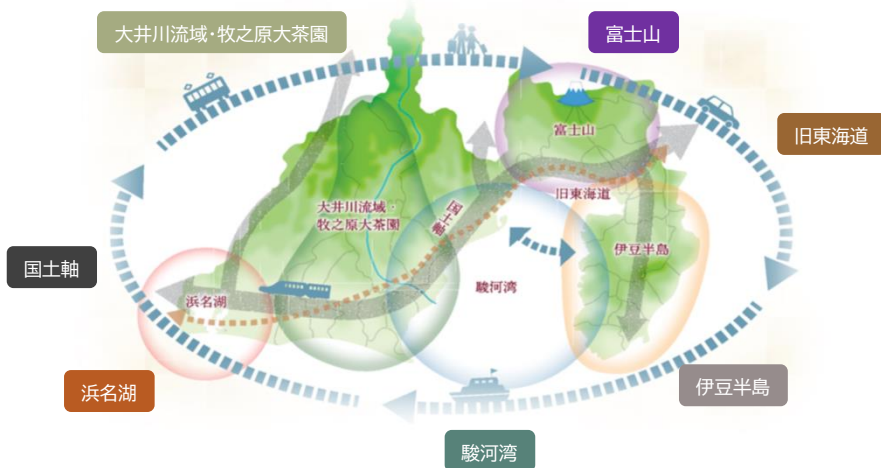
県内事業中箇所… 12市町 19箇所 431ha

# しずおか景観形成計画

# 05

## 景観形成

【目指す姿】 しずおかの多彩な景観が織りなす“回遊式庭園”



01



02



03

### 広域景観形成

富士山、伊豆半島、大井川流域・牧之原大茶園及び浜名湖の4つのエリアで、県と市町等による広域景観協議会を組織し、行動計画に基づき屋外広告物の適正化、修景事業等を実施しています。

### 高質な公共空間の形成

公共事業における景観形成の留意事項をまとめた「しずおか色彩・デザイン指針」に基づく公共施設整備を進め、大規模施設等については、専門家による景観検討を実施しています。

静岡県景観賞  
ホームページ



#### 【図・写真】

01 目指す姿のイメージ図

02 市町と連携した広域景観形成の推進

(左 / 中) 富士山周辺地域の修景伐採「富士川かりがね橋」(Before / After)  
(右) 大井川流域・牧之原大茶園の官民連携によるガードレール塗替え

03 高質な公共空間の形成

「河津川・浜川樋門・河津町浜」(Before / After)

本県では、「しずおか景観形成計画」(令和8年3月改定)に基づき、県を挙げて景観施策に取り組んでいます。  
富士山、伊豆半島をはじめとした7つの広域景観からなる「しずおか」の多彩な景観が織りなす「回遊式庭園」を目指す姿として、見て回って楽しめる景観づくりを推進しています。

# 06

## 沼津駅付近連続立体交差事業

### 連続立体交差事業



#### 事業概要

沼津駅付近の鉄道を一定区間高架化し、駅周辺が抱える交通課題の抜本的な解消や南北市街地の一体化を図ります。

鉄道施設跡地や高架下の空間を有効に活用し、にぎわいと魅力にあふれた県東部の拠点形成を促進します。

- ・ 規模：鉄道高架延長 約5.3km  
           〔東海道本線 約3.7km〕  
           〔御殿場線 約1.6km〕
- ・ 期間：平成18年度～令和23年度（予定）
- ・ 事業費：1,034億円
- ・ 内容：踏切の除却13箇所

#### 整備効果

- ・ 既存ガードの平面化と13箇所の踏切除却による周辺道路交通の円滑化
- ・ 鉄道高架化により、駅周辺の流動性が高まり、南北市街地が一体化
- ・ 高架化で生み出された鉄道施設跡地や高架下の利活用によるにぎわいの創出

#### 現状・課題

- ・ 駅付近の3つの既存ガードにおける日常的な交通混雑、豪雨時の通行止め、緊急車両の通行支障、歩行者・自転車の移動困難や、踏切における交通遮断
- ・ 鉄道が市街地を南北に分断し、人やモノの流動性を阻害

Facebook



【図・写真】

- 01 将来の全体図
- 02 あまねガードの将来イメージ
- 03 新貨物ターミナルの施工状況（令和8年2月）
- 04 各所の課題：
  - （左）あまねガードの自転車押し歩き
  - （中）三つ目ガードの大雨による冠水
  - （右）三つ目ガードの混雑

鉄道を連続的に高架化することで複数の踏切を一旦に除却し、周辺道路を整備します。これによって、交通の円滑化や線路で分断された市街地の一体化を図り、さらに高架下空間等を有効活用することで、都市活動の活性化を促進します。

# 都市計画道路 焼津広幡線

# 07

## 街路整備事業



### 事業概要

都市計画道路焼津広幡線は、清水港から国道150号を經由し東名高速道路焼津ICや新東名高速道路藤枝岡部ICなどにアクセスする重要物流道路に指定されている主要な幹線道路です。

- ・ 規模：延長900m（幅員27m）
- ・ 期間：平成28年度～令和10年度（予定）
- ・ 事業費：83億円
- ・ 内容：4車線、両側歩道

### 整備効果

- ・ 4車線化による交通混雑の解消
- ・ 歩道整備による安全で快適な歩行空間の創出
- ・ 平常時・災害時を問わない安定的で円滑な物流基盤の確保

### 現状・課題

- ・ 東名焼津ICのアクセス道路であり、沿道には運送業やサービス業の店舗が多く立地し、通過交通や沿道アクセス車両で交通渋滞が慢性化
- ・ 歩道が整備されておらず自転車・歩行者が通行する際の安全が未確保
- ・ 前後区間は4車線で整備済みであり、本区間のみ未整備でボトルネック化

#### 【図・写真】

- 01 全体平面図
- 02 本道路の渋滞状況
- 03 東名交差部の整備状況

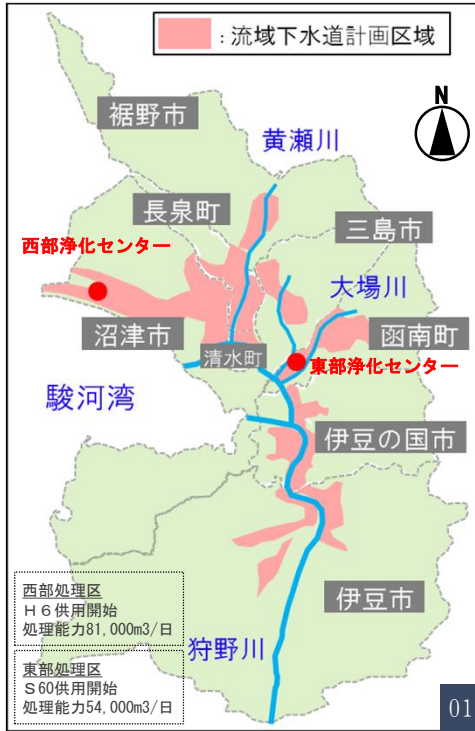
県内施行箇所…21市町 56路線 70箇所

まちなかの交通の円滑化と沿道土地利用の促進を図り、併せて都市のオープンスペースを供給することにより、良好な都市環境を形成し、安全安心で機能的な都市活動に寄与するため、都市計画道路の整備を行っています。

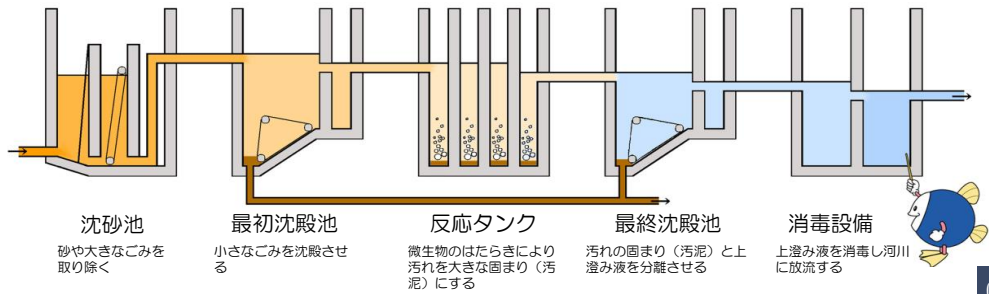
# 08

## 狩野川流域下水道事業

### 下水道事業



下水処理場の仕組み



### 事業概要

狩野川流域の水質保全や地域住民の快適な生活環境を確保するため、関連市町と連携した下水道整備・接続を行うとともに、施設の改築更新及び耐震対策を実施しています。

### 整備効果

令和6年度末の汚水処理人口普及率は、東部処理区が84.9%、西部処理区が71.5%となっており、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与しています。

### 安定した下水道サービスの提供

下水道法に定められた箇所に加え、全管路の点検を5年に一度実施しています。

また、民間の創意工夫の活用等により施設の維持管理、運営の効率化等を図るため、官民連携手法の導入についても検討を行うなど、安定した下水道サービスの提供に努めています。



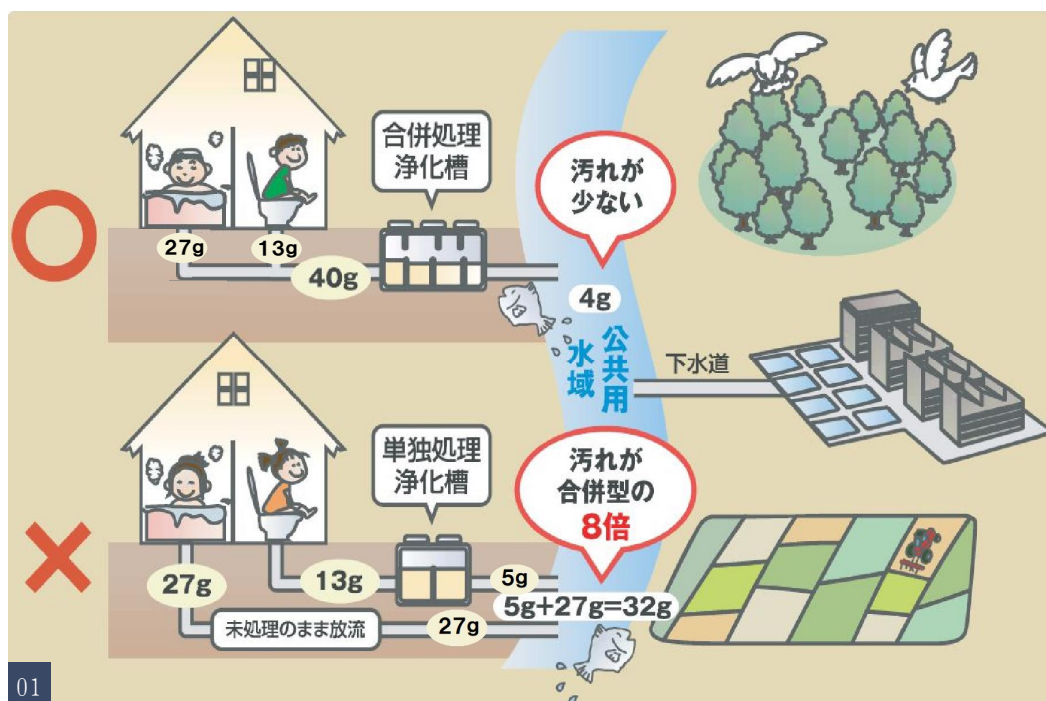
下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

#### 【図・写真】

- 01 流域下水道区域
- 02 西部浄化センター
- 03 見学会の様子
- 04 下水処理場の仕組み（イメージ）

県が管理する流域下水道は、狩野川流域下水道の1流域2処理区です。このうち、東部処理区は、2市1町（伊豆市、伊豆の国市、函南町）、西部処理区は、3市2町（沼津市、三島市、裾野市、清水町、長泉町）の汚水を処理しています。

## 合併処理浄化槽への転換促進



## 現状・課題

家庭の台所、洗濯、風呂やトイレなどから流す生活排水は、下水道や合併処理浄化槽などの排水処理施設によりきれいな水に処理された後、河川などに放流されています。しかし、単独処理浄化槽は、台所、洗濯や風呂などの生活雑排水を処理できないため、河川などの水質悪化の原因となっています。

現在、県内には約26万基もの単独処理浄化槽が設置されており、合併処理浄化槽への転換の促進が課題となっています。

## 県の取組

市町に対して、合併処理浄化槽の新設及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に係る技術支援を行っています。

また、合併処理浄化槽への転換に係る財政的支援などにより、効果的・効率的な転換の促進に取り組んでいます。

## 【図・写真】

- 01 浄化槽の種類と処理効果
- 02 単独処理浄化槽の流末の状況
- 03 合併処理浄化槽の設置例

生活排水による河川などの公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽法に基づき、単独処理浄化槽使用者は、合併処理浄化槽への転換に努める必要があります。県では、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進に取り組んでいます。

# 10

## 公園事業

### 県営都市公園の管理・整備



しずてつスタジアム草薙（しずスタ） 01



02



03



04



#### 事業概要

県営都市公園における利用者の安全・安心な環境を維持するため、中期維持保全計画等に基づき、園内の施設の修繕等を実施しています。

また、遠州灘海浜公園（篠原地区）については、野球場を中心としたスポーツやレクリエーションを通じて、幅広い年齢層の県民が健康づくりに取り組むことができる公園の整備を目指しています。

#### 整備効果

公園の利用者に、安心・安全・快適を提供し、利用サービスの向上を図ります。

また、遠州灘海浜公園（篠原地区）については、「みんなが楽しめる健康・スポーツ公園」として、新たなスポーツ拠点となり周辺地域が賑わうことを期待しています。

#### 【図・写真】

- 01 しずてつスタジアム草薙（しずスタ）
- 02 小笠山総合運動公園
- 03 遠州灘海浜公園（石人の星公園）
- 04 浜名湖ガーデンパーク
- 05 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画

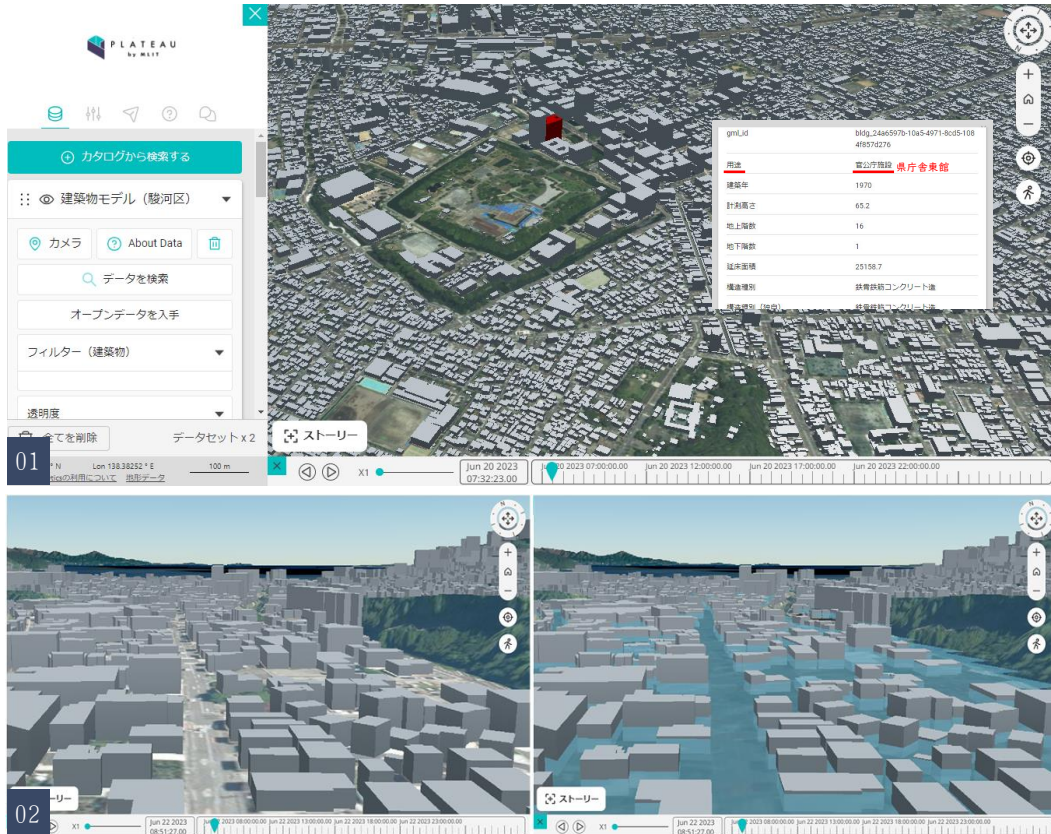
#### 現状・課題

本県では、草薙総合運動場、愛鷹広域公園、小笠山総合運動公園、富士山こどもの国、吉田公園、遠州灘海浜公園（中田島北地区）、浜名湖ガーデンパークの7公園を管理しています。草薙球場のネーミングライツパートナーが決定し、令和8年度より「しずてつスタジアム草薙（略称：しずスタ）」となります。ネーミングライツ料は、公園の維持管理費に充てられます。

また、遠州灘海浜公園（篠原地区）の整備については、事業実施に向け、用地調査・用地取得を進めています。

県では、7箇所の県営都市公園にて、都市の緑とスポーツ・レクリエーションの場の創出を図るため、県営都市公園の管理運営・維持補修等を行っています。このほか、遠州灘海浜公園（篠原地区）については、野球を中心とした魅力あるスポーツの拠点となるように事業をすすめていきます。

## 3D都市モデルと都市計画情報の連携



### 3D都市モデルの活用

窓口訪問不要で、自治体が保有しているデータをいつでも無償で取得可能です。都市分野だけでなく、浸水想定シミュレーション等の防災分野でも利用可能です。

### まちづくりとの連携

県の他局が作成した3D都市モデルに、用途地域や建物高さといった都市計画基礎調査の結果等の都市計画情報を付与しています。

このことによって、土地利用の現状を視覚的に把握することができます。

### データの公開

3D都市モデルおよび都市計画基礎調査の結果を、サイトで一般に公開しています。

G空間  
情報センター



PLATEAU



ふじのくに  
オープンデータカタログ



#### 【図・写真】

- 01 3D都市モデル建築物の属性情報（県庁舎の詳細情報を表示させた場合）  
※「PLATEAU」HPより一部加工
- 02 活用例：  
（左）伊豆市内の3D都市モデル、（右）想定最大規模の浸水想定を重ね合わせ

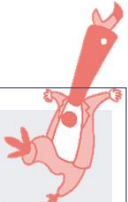
# 11

## 都市のDX化に向けた取組

静岡県では、まちづくりをDX化していくためのプロジェクト「PLATEAU（プラトール）」に参加し、3D都市モデルの整備・オープンデータ化をしています。3D都市モデルは都市計画基本図と標高値により作成されたもので、PLATEAUでは、このデータを活用した様々な事例も公開されています。

# Related Pages

## 関連ウェブサイト



### 静岡県インフラビジョン

本県のインフラ整備の“羅針盤”として、令和8年3月に策定されました。県土づくりやインフラ整備の方向性などをわかりやすく示しています。

HP



### 静岡どぼくらぶ

「静岡どぼくらぶ」は、静岡県の未来をともに考え、土木の現場でつながる広いサークルです。やりがいや誇りを持てる土木の仕事の魅力を伝えるため、分かりやすい動画の作成やメンバーが開催するイベントのサポート等を行っています。

HP



YouTube



### URBAN Timez

静岡県交通基盤部都市局では、職員19名による広報チーム「URBAN Timez」を結成し、職員一人ひとりが広報担当であるという意識で、都市局の取組やイベント情報等を発信しています。



HP



### シルシティ！

#### ～静岡県都市局を知る～

静岡県交通基盤部都市局では、インスタグラムでも情報を発信しています。都市局の事業や職場を、身近に感じていただければ幸いです。



### 静岡県都市計画ガイドブック

本県では、より多くの方に都市計画に関する理解を深めていただくため、「静岡県都市計画ガイドブック」を発刊しています。本県ホームページで閲覧できますので、是非、ご利用ください。

HP







**URBAN Timez**

(令和8年4月発行)

---

静岡県交通基盤部都市局

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

(編集) 都市計画課 TEL 054-221-3698 FAX 054-221-3640

※ 本紙に掲載の情報は、発行時点におけるものであり、変更している場合があります。